



OCHIHOKAI

落穂会だより

社会福祉法人 **落穂会**

2024年
147号

令和6年7月1日
発行



- P2. 曾於市南九州畜産獣医学拠点（通称：SKLV）開設
- p3. こどもサポートセンタースクラブの紹介
- P4. My Field（マイフィールド）
- P5. さんぼみち
- P6. SNAPスナップ
- P7. TOPIX（トピックス）
新規通所者紹介
- P8. あずもね家「バナナサンデー」
ぎゃらりーASAHIYA「サコッシュ」の紹介
ASAHIYA's Creators
とんぼ丸横のベンチ設置について

曾於市南九州畜産獣医学拠点 (通称:SKLV)開設



令和6年4月1日より曾於市の財部地区に南九州畜産獣医学拠点（通称：SKLV^{スクラブ}）が開設され、その中で落穂会が運営する児童発達支援・放課後等デイサービスの多機能型の事業所であるこどもサポートセンタースクラブを開所しました。こどもサポートセンタースクラブでは、落穂会の経験を活かし、馬とのふれあいを通したホースセラピーにも力を入れています。

①南九州畜産獣医学拠点とは

畜産が基幹産業である曾於市が鹿児島大学共同獣医学部と連携し、それぞれが抱える若者世代の減少、畜産業界の高齢化、畜産動物の実習先不足等の課題解決のために連携して整備された場所になります。平成31年から構想が始まり計画が進む中で、「産業動物モデル飼育エリア」「地方創生エリア」「馬エリア」と3つエリアが整備されることとなりました。そして、落穂会がシュバルでホースセラピーを取り入れた療育を行ってきたことから南九州畜産獣医学拠点で事業を行うこととなりました。

②こどもサポートセンタースクラブ^{アロ}での療育

児童発達支援事業所^{アロ}彩路と放課後等デイサービス^{アロ}スリオがあり、日常生活に必要なコミュニケーションや社会的なルールの習得を目指し、活動を通して保育所や学校、家庭で子どもたちが楽しくすごせるよう療育を行っています。また、インストラクターによる指導のもと、実際に子どもたちが馬に乗って行う個別レッスンを実施したり、身近に馬がいるというスクラブならではの環境を活かして、馬の散歩やエサやり、馬房掃除したりするなど毎日子どもたちが馬とふれあう機会を設けています。ふれあい活動を通して、馬の名前を覚え、馬とのふれあいを楽しみにスクラブへ通ってきているお子さんも多くいらっしゃいます。



インタビュー



獣医師・インストラクター
吉原 知子

Q スクラブで子どもたちと一緒に馬とふれあってみてどうですか？

A 厩舎（馬の部屋）と療育室の距離が近く、子どもたちが気軽に馬に会いに行けるのが良いところです。子どもたちの個性を把握して、子どもに合わせたプログラムを考えることにやりがいを感じています。

Q ホースセラピーの強みは何ですか？

A ご家族や支援員だけでは引き出せない反応や表情を馬は引き出してくれます。馬に乗っている姿を見てもらって「すごいね！」と周りが声を掛けることで、自分に自信が持てるのも良いところです。子どもたちのために馬ができることを、今後も考えていきたいと思っています。



バンビ（馬）も一緒に誕生日を祝うなど療育の中で自然と馬とふれあう場面がたくさんあります。



③ 今後は子どもたちと地域がつながる場所に

こどもサポートセンタースクラブがある財部地域には児童発達支援や放課後等デイサービスを運営する事業所が少なく、隣町や隣接する宮崎県の事業所へ通う子どもたちが多くいます。地域で生活する子どもの人数は鹿児島市に比べると多くありませんが、学校や保育所、行政などが子どもたちのために密接に連携を図り、地域で子どもたちを育てていく風土が感じられます。地域の方も散歩の途中で馬を見にきたり、子どもたちに声をかけてくれたりするなど地域の中に溶け込みやすい場所になっています。

これまで落穂会が培ってきた療育経験を活かしながら、子どもたちを支える一員となり地域に貢献できる事業所になれるよう地域との関りを大切にしていきたいと思っています。また、ホースセラピーを取り入れたスクラブならではの楽しい療育を提供できるよう専門性を磨き続けるように日々努めていきたいと思っています。

こどもサポートセンタースクラブ
統括主任 長野 玲子



南九州畜産獣医学拠点
South Kyushu Livestock Veterinary center



こどもサポートセンタースクラブ

住所：〒899-4101

曾於市財部町南俣 1343 番地

TEL：0986-58-8622



マイ
My

フィールド
Field



持ち前の明るさで皆を元気に！

障害者支援施設あさひが丘

成人部3寮チーフ支援員

安井 良太さん（35歳）

Q1 あさひが丘に入職してどれくらいですか？

今年で、9年目です。

Q2 その前は？

滋賀県に住んでいて、知的障害者の方の入所支援と通所支援をしていました。妻の実家が鹿児島なので、タイミングを見て移住してきました。

Q3 今はもうすっかり鹿児島人だと思いますが、鹿児島の印象ってどうでした？

そうですね、滋賀は海がないので、海鮮が美味しいと感じました。あとは、鳥刺しがおいしい。道がややこしい。どこに行くにも時間がかかる(笑)。それと、言葉は困惑したけど、人が優しいと感じました。

Q4 関西に比べたら不便かもですね。鹿児島の方の優しさは、私も県外組なので、とても共感します。鹿児島に来て良かったと思う事は？

新しい知り合いがたくさんできたので良かったです。同じ福祉の仕事に出会えた事も良かったです。

Q5 その同じ福祉でも、あさひが丘に入職して良かったと思うことは？

規模が大きくて色々な方と出会えていることはとても良かったと思います。利用者の方、職員、ご家族、すべての人との関わりでエネルギーを逆にもらっていると思います！

それと、今は成人の方の入所支援を行っていますが、元々は保育士志望でしたので、あさひが丘で児童入所の部署も経験させてもらったことは、とても良い経験でした。

Q6 滋賀での経験や児童入所支援の経験など幅広い経験が現在の支援にも活かしているんですね。プライベートの事も聞きたいのですが、いいですか？

はい、プライベートはバスケットが8～9割、釣りが時々です。

Q7 ほぼバスケットですね(笑)。お子さんが3人ともバスケットをされているんですね。

はい、子どもと一緒にいることがほとんどですね。バスケを通じて他の親御さんに関わる機会も多いので、とても楽しいです。バスケも楽しいですけど、知り合いの輪が広がっていくのもとても楽しいですね。

Q8 なるほど、公私ともに、人との関わりをととても大事にされているということは、普段誰とでも気さくに話されている様子からもよくわかります。最後に、メッセージをお願いします。

そうですね、私が常に思うのは、みんなで楽しく過ごしたいという事です。利用者の方はもちろん、家族も、職員も！その為に、自分にできることを頑張ります！！ありがとうございました。





大重 康介 さん
(放課後等デイサービス我路)

Q 自己紹介をお願いします。

A 大重康介です。

好きな食べ物はびっくりドンキーのチーズハンバーガーです。嫌いな食べ物はないです。

Q 学校ではどのような勉強や作業をしていますか？

A 数学、国語、作業学習を頑張っています。作業学習は園芸班です。今は夏野菜（ピーマン、トマト、きゅうり、ししとう、ナス）を育てています。鹿特フェスタで販売するので買いに来てください！

Q 放課後等デイサービス我路では何をして過ごしていますか？

A 宿題がある日は我路に着いたら、すぐに宿題をしています。宿題が終わったらオセロやトランプをします。天気の良い時は外でおにごっこをしてみんなと遊んでいます。オセロは職員にも勝ちます。

Q 強いんですね。野球が好きと聞きました。応援しているチームはありますか？

A ヤクルトスワローズと阪神タイガースです。

Q これから挑戦してみたいことはありますか？

A 難しい勉強や我路の難しい活動も頑張りたいです。



35年余、感謝でいっぱい

川畑 岩夫 さん

我が家の天使、豪大さん。縁あって「あさひが丘学園」にお世話になって35年余。

巣立ちは、10歳でした。我が家にとって「子も親も試練」でした。

あさひが丘学園に入所する前は、食も細く、大丈夫かなと思いましたが、取り越し苦労でした。学園の栄養士さんによる美味しい献立で食欲も増し、体格も成長し、17～8歳ころには、腕っぷしも大きくなり、びっくりしました。

グループホーム「夕陽丸」に入所し、日中2科で陶芸や絵画等に頑張っています。支援員の皆さんに、豪大さんの「出来ないではなく、出来ることはないか」を模索してもらい、本人が一番喜んで取り組んでいるところです。

近時、「パソコンを操作できるのではないか」と模索してもらっています。

夕陽丸での生活環境も豪大さんがお気に入りです。カレンダーにやりたいことを書き支援員さんと情報を共有してもらっています。

去る五月の帰省時、演歌歌手の「丘みどり」さんの「涙歌」が欲しいとオプシアミスミで本人が探し、CDを買いました。2泊3日を満足してシャワーを浴び「これでゴールデンウィークはおしまい」と元気よく帰寮しました。

豪大さんがお気に入りの夕陽丸、充実した生活を送ることができていますのは、数多くの支援員の皆さんが豪大さんのため、目標を立てて、機嫌よく、楽しい寮生活ができるように一生懸命に支援していただいているお陰様と心から感謝しています。

私もこの夏、後期高齢者の仲間入りをします。一方、兄の貴大さんも「あさひが丘きょうだい会」に入会し、豪大さんを支えてくれています。

家内も豪大さんの帰省を心待ちにし、食事や外出（城山公園散策と望遠鏡活用など）にと一生懸命支えています。

支援員の皆さんには、「ありがとうございます」と感謝の言葉しかございません。

豪大さんが「生まれてきて良かった」と言えますよう、今後ともよろしくお願いします。



ドラムサークル

今年度より、あさひが丘の生活介護では、リズムコミュニケーター森田孝一郎氏を講師としてお招きし、毎月1回、ドラムサークルを開催しています。ドラムサークルとは参加者が輪になって即興的に打楽器等を演奏する音楽活動です。参加者の心を開放し、協調性を促進する効果があり、教育、企業、福祉の分野で活用されているそうです。

始まりの挨拶や合図はなく、講師が太鼓を叩き始めると、一人また一人と自然と太鼓を叩きだし、いつの間にか参加者全員が楽器を演奏しています。中には飛び跳ねたり、踊り出したりと参加者一人ひとりが思いのままに音楽を表現しています。自由に奏でる演奏は唯一無二のメロディーであり、参加者はその時間や空間を確かに楽しんでいることは一目瞭然です。職員も一緒に楽しく参加し、より楽しい活動にしていきたいです。

令和6年度 児童発達支援合同保護者会

4月26日(金)、地域生活支援センターあさひが丘にて、児童発達支援合同保護者会を開催し、19名の保護者の方にご参加いただきました。当日は鹿児島市教育委員会の山下氏・梁瀬氏より「特別な支援を必要とする幼児の就学に向けて」というテーマのもと、就学前教育相談の流れや通常学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校等についてのお話をいただきました。

その後の茶話会では、就学前教育相談のことや子どものこと、就学に向けての準備や情報収集等について各グループで話し合い、教育委員会の方へ質疑応答し理解を深めました。参加した保護者の方より、「就学に向けて学校見学をすすめていきたい。」「学級や学校の違い等が分かって良かった。」等のご意見をいただきました。

引き続き、お子さまや保護者の皆さまが安心して就学を迎えられるよう職員一同、支援に努めて参ります。



令和6年度 第1回きょうだい児支援会

「シュバルに行って、馬とふれあってみよう」を開催しました。

5月26日(日)、当法人の運営する乗馬倶楽部シュバルにて、今年度第1回目の「きょうだい児支援会」を実施し、6家族14名の方にご参加いただきました。この会は、落穂会の運営する児童通所事業所をご利用されているお子さま方のごきょうだい児が主役となり、親子でスキンシップを図りながら楽しく過ごしたり、保護者やごきょうだい児同士が交流できる場となることを目的として開催しております。当日は天候に恵まれ、予定通り乗馬の体験や馬とのふれあい活動を実施いたしました。大きな馬を目の前に、初めは馬に人參をあげることが難しいお子さんも、お母さんとの関わりを通してだんだんと馬に慣れ、最後は笑顔でえさやりを楽しんでいる様子や、乗馬体験では、馬に乗って馬場を回る様子を親子で写真を撮り合い、楽しさを共有する姿なども見られ、「参加して良かった!!」との声もいただきました。今後も、事業所を利用するお子さんはもちろん、ご家族の方々の笑顔で過ごす日々に、微力ではありますが、お力添えできればと思います。



●春山郷土芸能保存会 ふるさと祭り反省会

4月19日（金）、春山郷土芸能保存会のふるさと祭り反省会があり、ふるさと祭りに踊り子として参加したGH利用者3名も参加しました。久々に地域の保存会メンバーと会ったためか、少し緊張した様子がありましたが、炭火焼きなどの食事やお酒、ジュースを囲みながら地域の方々と会話をし、緊張がほぐれ笑顔が見られました。この反省会を糧に今年度も棒踊りの練習に励もうと思います。

●知的障害関係施設親善球技大会

4月27日（土）桜島グラウンドにて第42回知的障害関係施設親善球技大会が行われました。大会には25施設394名の参加がありました。あさひが丘は、グラウンドゴルフとティーボールの2グループに分かれて24名の方が出場しました。ティーボールは、歓声を力に、2回戦まで進む事ができました。グラウンドゴルフも、チーム一丸となってゴールを目指しました。試合が終わると来年の試合も頑張りたいと意気込んでいました。

●あさひが丘学園家族会総会

5月12日（日）にあさひが丘学園家族会総会を開催し、41家族46名の方にご出席いただきました。令和6年度の事業計画及び収支予算案、家族会役員改選について承認されました。今後とも、あさひが丘学園の活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

●県スポーツ大会について

5月19日（日）に、第18回鹿児島県障害者スポーツ大会が開催されました。風がとても強い一日でしたが清々しい陽気の下、それぞれが自分の力を発揮しようと頑張り、「初めてメダルを取ったよ。うれしい。」との声もありました。「頑張れ」と応援の声が飛び交

い、拍手で互いの健闘を称え、楽しい一日となりました。

●日中活動参観

6月1日（土）日中活動参観を実施しました。33家族44名のご家族が来園され、普段の活動の様子をご覧いただき、一緒に取り組んでもらいました。今年はきょうだいの方々の参加もあり嬉しかったです。利用者の皆さんはご家族と一緒に活動ということで、普段以上に活動を楽しんでいる様子で、明るく賑やかな時間となりました。

●ふれあいスポーツ大会

6月2日（日）に鹿児島国際大学にて第30回鹿児島市地区ふれあいスポーツ大会が行われました。当日は、多くの施設関係者の参加がありスポーツを通して親善を深める場となりました。あさひが丘グループは、児童から成人まで幅広い年齢層の方々が31名参加し笑顔溢れる大会となりました。

●ノジリ建設奉仕作業

6月3日（月）にノジリ建設工業の方々が奉仕作業を行っていただきました。排水用マス内の清掃や排水溜めの整備、斜面の草刈りなど、職員では難しい作業も重機を使用してきれいにしていただきました。いつも、ありがとうございます。

●ペアレント・プログラム

6月4日（火）、こどもサポートセンターあさひが丘にて、子育て支援講座「ペアレント・プログラム」（全6回）が始まりました。7名の方が参加しており、参加者同士で日々の悩みを共有したり、こどもへの関わりをともに考えたり、アイデアを出しながら、こどもを褒める視点について学びを深めています。

新規通所者紹介



山元 俐奈 さん

あすもねで先生たちと仕事を頑張りたいです。



小林 謙信 さん

機械の練習をして、お仕事で使えるように頑張ります。



新馬込 朋樹 さん

作業を丁寧に頑張ります。お給料を貯めて旅行に行きたいです。よろしくお願いします。

あすもね家人気メニューの一つである“バナナサンデー”のご紹介です♪

甘みのあるおいしいバナナや、濃厚でクリーミーなバニラアイスに生クリーム。厳選したコーンを丁寧に焼き上げた上質のコンフレークに、優しい味わいの2種の手作りゼリー。さっくり焼き上げたパンケーキの生地はクッキーのような食感に仕上がりました♡それぞれの食材がチョコソースと絡まることで、色んな味わいや食感を楽しめる一品となっております♡是非!!幸せを感じる“バナナサンデー”をお召し上がりください。ご来店、お待ちしております。

〒892-0853 鹿児島市城山5-1

かごしまメルヘン館喫茶室

☎ 070-8823-0051

営業時間 平日 11:00～17:00 (L.O 16:30)

※土日祝 10:00～

定休日 火曜日(※メルヘン館の営業日に準ずる)



バナナサンデー

660円(税込)

ぎゃらりーASAHIYAからのお知らせ

～大人気商品「サコッシュ」のご紹介～

数量限定で販売が開始した商品の在庫は残りわずか! ナチュラルなカラーリングのバック部分にキリンとライオンのイラストがシンプルに入ったデザインは使い勝手抜群です! 在庫には限りがありますので、興味のある方はお早目にお問い合わせください。

サコッシュ **1,500** 円(税込)



ギャラリーASAHIYA の商品を支えるクリエイターたちを紹介していきます。

ASAHIYA's Creators



File.1

柳園 夏菜子

1996 年生まれ。あさひが丘日中2科所属。タブレットや自由画帳に描く絵画は、型にはまらない自由な構図と色使いが魅力。抽象画や人物画、夢に出てきた風景など、多彩な作品を次々と生み出している。



とんぼ丸横のベンチ設置について



グループホームとんぼ丸の駐車場でバスを待つ方が利用できるようにベンチを設置しました。ベンチの横にはGH利用者の描いた絵も飾っています。

ベンチを設置後、バス停を利用されている地域の方に座り心地を尋ねたところ、「ありがとう。便利に使わせてもらっています。」と感謝の言葉をいただきました。GH利用者も同じバス停を利用していますので、地域交流のきっかけとなればと思います。



社会福祉法人 **落穂会**

〒891-1206
鹿児島市皆与志町 2503 番地
<http://www.asahigaokagakuen.jp/>

TEL 099-238-4821

FAX 099-238-5737